

2024 年度 減災復興政策研究科 研究一覽

**Annual Review of Graduate School of Disaster Resilience and
Governance for Fiscal Year 2024**

兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科

**Graduate School of Disaster Resilience and Governance
University of Hyogo**

2024年度 減災復興政策研究科 研究一覧

本研究一覧は、2023年度（2023年4月から2024年3月）に減災復興政策研究科の教員が実施しました研究項目をまとめたものです。

・災害科学領域

永野 康行（ながの やすゆき） 教授

馬場 美智子（ばんば みちこ） 教授

谷口 博（たにぐち ひろし） 准教授

平井 敬（ひらいたかし） 准教授

・減災コミュニケーション領域

阪本 真由美（さかもと まゆみ） 教授

浦川 豪（うらかわ ごう） 教授

松川 杏寧（まつかわ あんな） 准教授

・減災復興ガバナンス領域

青田 良介（あおた りょうすけ） 教授

澤田 雅浩（さわだ まさひろ） 准教授

紅谷 昇平（べにや しょうへい） 准教授

【学術研究書（著書）】

1. 神戸市教育委員会，（共著）浦川豪，“令和 5 年度版神戸 SSS 中学校理科副読本”，pp. 59-61, 2023 年 4 月
2. 日本災害復興学編，（共著）青田良介（1-4 復興ガバナンス pp.8-9, 2-7 義援金その他の寄付 pp.70-71, 2-8 復興財源（基金） pp.72-73），阪本真由美（5-2 コミュニティにおける記憶継承 pp.180-181, 事例 15 インド洋津波災害と復興） pp.250-251, 澤田雅浩（4-7 集団移転） pp.152-155, 紅谷昇平（3-6 企業の事業継続（BCP, BCM） pp.110-111），“災害復興学事典”，2023 年 9 月, 朝倉書店
3. 兵庫教育委員会，（共著）浦川豪，“月間「兵庫教育」No.875 学校防災体制を充実させる取り組み”，pp. 4-7, 2024 年 1 月
4. 消防防災科学センター，（共著）紅谷昇平，“地域防災データ総覧 大規模災害時の応援・受援（人的・物的支援）”，（「被災自治体への人的支援の必要性と課題」 pp.7-15 を担当），2024 年 2 月, 消防防災科学センター
5. 帝国書院編集部編，（共著）阪本真由美，“わかる！取り組む！新・災害と防災 第 1 卷（帝国書院地理シリーズ）”，2024 年 3 月, 帝国書院
6. 減災古文書研究会編，（共著）平井敬，“『鳥羽御城石垣御修復一件』翻刻”，2024 年 3 月, 名古屋大学減災連携研究センター

【査読付き学術論文】

1. 近藤民代, 馬場美智子, 藤井 諒平, “水害常襲地における被災者による住宅減災復興と主観リスクの関係性に関する研究 —2018 年西日本豪雨の被災地倉敷市真備町を事例としたリスクコミュニケーション概念を用いた分析—,” 都市計画論文集, Vol.58(1), pp. 58-69, 2023 年 4 月
2. 成澤恒星, 平井敬, 福和伸夫, “無線によるデータ伝送機能を備えた MEMS 加速度計の振動論教育への活用,” 日本建築学会技術報告集, Vol. 29(72), pp.689-694, 2023 年 6 月
3. 新谷歳三, 馬場美智子, “災害時の人的支援スキームの受入実態に基づく基礎自治体の受援体制の課題分析,” 土木学会論文集, Vol. 79(7), pp.1-14, 2023 年 7 月
4. 水野真希, 岡井有佳, 馬場美智子, “竹原重要伝統的建造物群保存地区における水害対策に関する研究,” 歴史都市防災論文集, Vol. 17, pp. 85-90, 2023 年 7 月
5. 張勳, 青田良介, 本莊雄一, “基礎自治体間の連携による技術職員の長期派遣にかかる考察 —東日本大震災における兵庫県阪神支援チームの取組みを事例に—,” 日本災害復興学会論文集, Vol. 22, pp. 25-34, 2023 年 7 月
6. 秋山典子, 折橋祐希, 浦川豪, “大規模地震発生後の学校事務職員の役割に関する研究,” 防災教育学研究, Vol. 4(1), pp.77-88, 2023 年 9 月
7. 馬場美智子, 岡井 有佳, 小原 雅人, “木造密集市街地における消防活動に着目した無電柱化事業の減災効果に関する分析,” 土木学会論文集, Vol.79(10), pp.1-11,2023 年 10 月
8. 山川誠, 朝川剛, 永野康行, “変位制御型 PC 鋼棒ブレースの初期離間量の不確定変動に対する耐震ロバスト性の検討,” 構造物の安全性および信頼性, OS9-1A [A 論文] JCOSSAR 2023 論文集, Vol. 10, pp. 158-162, 2023 年 10 月
9. 黒宮マキ子, 紅谷昇平, “介護保険サービス事業者の業務継続及び防災対策の取組状況とその阻害・促進要因：佐用町の事例調査より,” 地域安全学会論文集, Vol. 43, pp.115-124, 2023 年 11 月
10. 本莊 雄一, 青田良介, 紅谷昇平, 今石 佳太, 張 勳, “市町村の防災・危機管理体制における首長の防災意識に関する研究,” 地域安全学会論文集地域安全学会論文集, Vol. 39, pp. 225-235, 2023 年 11 月
11. YI Taiyoung, 松川杏寧, 千葉洋平, 永松伸吾, “多様な支援実態を踏まえた地域防災ファシリテーション形の改善の試み,” 地域安全学会論文集(CD-ROM), Vol.42 , pp.37-46, 2023 年 11 月
12. 筒井寛太, 永野康行, “鋼構造建築物の用途に応じた架構形式に基づく地震時安全性評価,” 鋼構造年次論文報告集, Vol.31, pp. 579-583, 2023 年 11 月
13. 湯井恵美子, 澤田雅浩, “特別支援学校における災害時優先業務に関する研究,” 地域安全学会論文集, Vol. 43, pp.147-156, 2023 年 11 月
14. 松川杏寧, 北村美和子, “セクシュアルマイノリティの実態と災害時の脆弱性に関する基礎研究,” 地域安全学会論文集(CD-ROM), Vol.43, pp.297-304, 2023 年 11 月

15. Okamoto Hideo, Saito Toyoji, Saito Toyoji, Utsunomiya Atsuhiko, Okada Yukio, Matsukawa Anna, “熊本地震による空き巣被害の増加への影響,” *Journal of Disaster Research*, Vol.18(5), pp.524-530, 2023 年
16. 和田広大, 紅谷昇平, 諫山憲司, “大規模災害時を想定した民間救命士と地域住民との連携のあり方について—大阪市中央区北大江地区の避難所訓練の事例より—,” *日本災害医学会雑誌*, Vol. 29(1), pp.1-7, 2024 年 1 月
17. 澤田雅浩, 佐藤敬生, “自然災害時の広域避難の可能性 兵庫県尼崎市における調査結果から,” *Journal of Disaster Research*, Vol. 19(1), pp.105-112, 2024 年 2 月
18. 平井敬, 高橋広人, “地震観測の媒体としての自動車の詳細な振動実験,” *日本地震工学会論文集*, Vol. 24(1), pp.33-53, 2024 年 2 月
19. 本莊 雄一, 青田良介, 紅谷昇平, 今石 佳太, 張 勳, 赤松 崇志, “基礎自治体の人口規模別にみた災害対応力の課題に関する実証的研究—全国の基礎自治体に対する質問紙調査の結果—,” *自然災害科学*, Vol. 42(4), pp.337-356, 2024 年 2 月
20. Kentaro Imai, Kentaro Nakai, Takashi Hirai, Toshihiro Noda, Nobuo Arai, Shunji Iwama, Hiroyuki Iwase, Toshitaka Baba, “Tsunami hazard evaluation of river embankment structures incorporating their vulnerability to seismic strong motion,” *Earthquake Spectra*, 2024 年 3 月
21. 山口まどか, 馬場美智子, “地域の共助につながる人的リソースと地域活動についての分析,” *地域安全学会論文集*, Vol. 44, pp.1-10, 2024 年 3 月

【学会・国際会議での発表】

1. 大迫雅俊, 澤田雅浩, “自然災害からの地域復興を支える住民組織に関する研究 西日本豪雨災害で被害を受けた広島県坂町における住民協関係者へのヒアリング,” 地域安全学会, 2023 年 4 月
2. 北村美和子, PEARCE-DAVIES Ellen, 松川杏寧, “セクシャルマイノリティの人々の災害時の困難を理解するための日本における探究的研究,” 地域安全学会, 2023 年 4 月
3. 佐藤敬生, 澤田雅浩, “事前復興対策としての二地域居住政策の可能性について-兵庫県西脇市芳田地区における住民アンケートから-,” 地域安全学会, 2023 年 4 月
4. 郷右近英臣, 松川杏寧, 落合努, 畠山久, 杉安和也, 寅屋敷哲也, 倉田和己, 河本尋子, 佐藤翔輔, “地域安全学夏の学校 2023-基礎から学ぶ防災・減災-地域安全学領域における若手人材育成その 7,” 地域安全学会, 地域安全学会, 2023 年 4 月
5. 祖父江俊介, 浦川豪, 永野康行, “地震応答解析の最大層間変形角による建物被害を用いた被害認定調査支援,” 日本地震工学会論文集, 日本地震工学会, 2023 年 4 月
6. 橘泰嗣, 澤田雅浩, 眞鍋大志, 佐藤敬生, “尼崎市における中小企業の防災意識と災害対策について その 2 福祉系企業の特徴についての分析,” 地域安全学会, 2023 年 4 月
7. 永松伸吾, 宇田川真之, 井ノ口宗成, 鈴木進吾, 丸山喜久, 松川杏寧, 沼田宗純, 折橋祐希, 辻岡綾, 有吉恭子, 大月浩靖, 藤原宏之, 古越武彦, 林春男, “応急対応 DX:市区町村災害対応の変革を目指して,” 地域安全学会, 2023 年 4 月
8. 前川良栄, 澤田雅浩, “放課後等デイサービス事業所における災害への備えに関する研究,” 地域安全学会, 2023 年 4 月
9. 松川杏寧, 大塚理加, 永松伸吾, “防災基礎力尺度の開発,” 地域安全学会, 2023 年 4 月
10. 松川杏寧, 中迫由美, “防犯リテラシーの構築に向けた一考察,” 地域安全学会, 2023 年 4 月
11. 眞鍋大志, 澤田雅浩, 橘泰嗣, 佐藤敬生, “尼崎市における中小企業の防災意識と災害対策について その 1 中小企業を対象としたアンケート結果の整理,” 地域安全学会, 2023 年 4 月
12. 頼政良太, 澤田雅浩, “水害後の避難所外避難者の生活と支援の必要性についての考察,” 日本自然災害学会学術講演会講演概要集, 日本自然災害学会, 2023 年 4 月
13. 青田良介, “阪神・淡路大震災からの教訓と市民力について,” 神戸女子大学神戸学ゲストスピーカー, 神戸女子大学, 2023 年 5 月
14. 氏家里菜, 馬場美智子, “津波避難困難地域における支援対策の足掛かりを見つけるための地域の取組に関する研究-徳島県美波町由岐湾内地区の後期高齢者を対象として-,” 地域安全学会春季大会, 2023 年 5 月
15. 大西真衣, 馬場美智子, “新型コロナウイルス感染症対応における都道府県型保健所および市町村保健センターのアンケート調査による役割分担の実態分析,” 地域安全学会春季大会, 地域安全学会, 2023 年 5 月
16. 折橋 祐希, 浦川豪, “災害対応を実施する集団の組織化,” 地域安全学会, 2023 年 5 月

17. 北脇 敬吾, 浦川豪, “神戸市における都市開発と土砂災害リスクの関連性に関する研究,” 地域安全学会, 2023 年 5 月
18. 阪本真由美, “荒島千鶴 国際緊急人道支援における国による支援要請をめぐる課題—トルコ・シリア地震に着目して,” 第 52 回地域安全学会研究発表会 (春季), 2023 年 5 月
19. 西田裕美, 王国屹, 浦川豪, “地域防災力向上のためにファッションに関する研究,” 地域安全学会, 2023 年 5 月
20. 紅谷昇平, ピニエイロ アベウ, タイチ コンノ, 今石 佳太, 上田 知史, “自治体の災害対応力向上に向けた生成系 AI チャットボットの活用可能性についての予備的検討,” 地域安全学会, 2023 年 5 月
21. 山口まどか, 馬場美智子, “地域の共助につながる人的リソースについての新たな視点からの分析,” 地域安全学会春季大会, 2023 年 5 月
22. 祖父江俊介, 筒井寛太, 永野康行, “地震被害予測のための建物情報変化,” 日本建築学会近畿支部研究発表会, 2023 年 6 月
23. 谷口博, “コンピュータで雲は掴めるか? —災害予測のための気象予報の話—”, 減災復興サイエンスカフェ, 兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科, 2023 年 6 月
24. 筒井寛太, 永野康行, “建築物の用途と架構形式の関係調査,” 日本建築学会近畿支部研究発表会, 2023 年 6 月
25. Michiko Banba and Tamiyo Kondo, “Post-disaster resilient housing reconstruction after repetitive flooding in Japan: Cases of Kurashiki-City and Takeo-city,” i-Rec Conference 2023, 東北大学災害科学国際研究所, 2023 年 6 月
26. 榊田和宏, 浦川豪, “音楽活動による災害時の被災地支援の枠組み作りの展開,” 防災教育学会第 4 回大会予稿集 (下巻), 防災教育学会, 2023 年 6 月
27. 松原郁洋, 永野康行, “建物内において地震による揺れを受けた場合を想定した不安度調査,” 日本建築学会近畿支部研究発表会, 2023 年 6 月
28. 平井敬, “中播磨・西播磨地域ひょうご防災リーダー講座,” 中播磨・西播磨地域ひょうご防災リーダー講座, 兵庫県, 2023 年 8 月
29. 青田良介, “巨大災害に備える,” 令和 5 年度淡路市防災研修講座, 淡路市役所, 2023 年 9 月
30. 青田良介, “グリーンインフラを活用した水害に強いコミュニティ構築に関する研究 (台湾の事例を中心に),” 日本自然災害学会第 42 回学術講演会, 2023 年 9 月
31. 内見龍一, 永野康行, “工学的基盤深度を考慮した表層地盤の固有周期を用いた構造種別ごとの共振の恐れがある建物高さマップ作成,” 日本建築学会 (近畿), 2023 年 9 月
32. 黒宮マキ子, 紅谷昇平, “新型コロナウイルス感染症に関する高齢者介護施設の対応実態と業務継続,” 兵庫県立大学・知の交流シンポジウム, 2023 年 9 月
33. 減災古文書研究会 (平井敬), “すごろくで遊んで学ぶ! 安政の南海トラフ地震,” ぼうさいこくたい 2023, 防災推進国民大会 2023 実行委員会, 2023 年 9 月

34. 阪本真由美, “関東大震災と国際支援—国際協調による支援,” 第 40 回歴史地震研究会 (小田原大会), 2023 年 9 月
35. 祖父江俊介, 筒井寛太, 永野康行, 浦川豪, “地震時の最大層間変形角に設けた閾値の被害認定調査への適用,” 日本建築学会大会 (近畿), 2023 年 9 月
36. 高野美希, 平井敬, 飛田潤, “文化財展示物の地震時損傷防止のための振動実験と動的モデルの構築,” 日本建築学会 2023 年度大会, 2023 年 9 月
37. 高橋広人, 平井敬, 護雅史, 鈴木晴彦, “リニアアレイによる微動記録に基づく位相速度の時間変化に関する考察,” 日本建築学会 2023 年度大会, 2023 年 9 月
38. 筒井寛太, 永野康行, “統計的手法を用いた鋼構造建築物における多質点系モデルのパラメータ決定,” 日本建築学会 (近畿), 2023 年 9 月
39. 平井敬, “歴史資料で探る過去の地震災害,” 第 40 回地盤震動地域交流会, 日本建築学会地盤震動小委員会, 2023 年 9 月
40. 平井敬, “自動車を媒体とした地震観測の可能性,” 京都大学防災研究所地震・火山研究グループ研究会, 京都大学防災研究所, 2023 年 9 月
41. 平井敬, 高橋広人, “自動車をを用いた高密度地震観測の実現へ向けた車両振動実験 その 2,” 日本建築学会 2023 年度大会, 日本建築学会, 2023 年 9 月
42. 松原郁洋, 山川誠, 朝川剛, 永野康行, “建物内において地震を受けた場合を想定した揺れの程度と不安度調査,” 日本建築学会 (近畿), 2023 年 9 月
43. 横山晴紀, 朝川剛, 山川誠, 永野康行, “座屈拘束ブレースとオイルダンパーを併用する鋼構造骨組の構造最適化と性能順位付け,” 日本建築学会 (近畿), 2023 年 9 月
44. 青田良介, “兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科の国際化に向けて,” 令和 5 年度国際防災・人道支援協議会(DRA)活動報告会の開催「国際協力から国際貢献へ～世界の期待に応える DRA の活動～」, 国際防災・人道支援, 2023 年 10 月
45. 阪本真由美, “英字新聞による災害報道ジャパニクロニクルに着目して,” 関西歴史災害研究会, 関西歴史災害研究懇談会, 2023 年 10 月
46. 平井敬, “自動車は地震計になれるか? 超高密度地震観測網の実現へ向けて,” はりま産学交流会創造例会, はりま産学交流会, 2023 年 10 月
47. 青田良介, “経営理念につながる事業継続・減災—防災を切り口に優先順位を考える—,” 中小企業家同友会 第 31 回全大阪経営研究集会 第 7 分科会, 大阪府中小企業家同友会, 2023 年 11 月
48. 勝井裕美, 青田良介, “地方分権化が進むネパールでの外部支援による地域の防災力向上に関する考察—日本の NGO の洪水防災事業を一例に—,” 地域安全学会, 2023 年 11 月
49. 小谷菜央, 平井敬, 永野康行, “実大振動台実験分析による木造住宅の地震被害認定のための基礎調査手法,” 第 16 回日本地震工学シンポジウム, 2023 年 11 月
50. 阪本真由美, “トルコにおける防災体制の中央集権化と大規模広域地震対応,” 地震工学シンポジウム, 日本地震工学会, 2023 年 11 月

51. 阪本真由美, “火山における防災情報伝達の課題,” 火山噴火と防災および観光シンポジウム 2023 –草津白根山, 御嶽山, 箱根山–, 火山噴火と防災および観光シンポジウム 2023 –草津白根山, 御嶽山, 箱根山–実行委員会, 2023 年 11 月
52. 祖父江俊介, 浦川豪, 永野康行, “地震応答解析の最大層間変形角による建物被害を用いた被害認定調査支援,” 第 16 回日本地震工学シンポジウム, 2023 年 11 月
53. 松原郁洋, 永野康行, “人力加振を受ける椅子に着座した人の頭部挙動と不安度調査,” 第 16 回日本地震工学シンポジウム, 2023 年 11 月
54. 松原郁洋, 平井敬, 永野康行, “人力加振を受ける椅子に着座した人の頭部挙動と不安度調査,” 第 16 回日本地震工学シンポジウム, 2023 年 11 月
55. 宮内智香, 平井敬, 永野康行, “観測地震動と免震層最大変位に基づく免震層水平剛性の推定手法,” 第 16 回日本地震工学シンポジウム, 2023 年 11 月
56. 青田良介, “基礎自治体の災害対応力向上に関する研究,” ひょうご震災記念 21 世紀研究機構 令和 4 年度研究調査助成金成果報告会, ひょうご震災記念 21 世紀研究機構, 2023 年 12 月
57. 青田良介, “過去の教訓を踏まえ, 来るべき大災害に備える ~自助・共助・公助の役割~” 令和 5 年度 大阪府消防関係者合同研修会, 大阪府, 2023 年 12 月
58. 小谷菜央, 平井敬, 永野康行, “木造建築を対象にした残留変形角と最大層間変形角の比から導く損傷程度の検討,” 先進的可視化技術とデータ科学の融合による可視化解析の研究会 (VR2023), 核融合科学研究所・日本シミュレーション学会, 2023 年 12 月
59. 阪本真由美, “災害時の官民連携についての一考察—社会貢献と義務に着目して,” 日本災害復興学会大会, 日本災害復興学会, 2023 年 12 月
60. 張勳, 青田良介, “大規模災害における重層的な自治体間支援に関する考察—令和元年東日本台風における応急対策職員派遣制度の運用を事例に—,” 日本災害復興学会, 2023 年 12 月
61. 平井敬, “想定地震時の建物室内被害可視化の取り組み,” 先進的可視化技術とデータ科学の融合による可視化解析の研究会 (VR2023), 核融合科学研究所・日本シミュレーション学会, 2023 年 12 月
62. 平井敬, “古文書から知る江戸時代の地震,” 大和郡山市サイエンスカフェ, 奈良工業高等専門学校, 2023 年 12 月
63. 平井敬, “歴史を変えた (かもしれない) 南海トラフ地震,” 減災復興サイエンスカフェ, 兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科, 2023 年 12 月
64. 宮内智香, 平井敬, 永野康行, “免震建物の挙動可視化のための免震層水平剛性の推定手法,” 先進的可視化技術とデータ科学の融合による可視化解析の研究会 (VR2023), 核融合科学研究所・日本シミュレーション学会, 2023 年 12 月
65. 山口泰輝, 阪本真由美, 松川杏寧, “災害からの復旧復興期におけるソーシャルキャピタルとコミュニティの役割,” 日本災害復興学会, 2023 年 12 月
66. 青田良介, “令和 6 年能登半島地震 ~被災地の今とこれからの考える~, ” 全国防災関係人口ミートアップ Vol.153, 全国防災関係人口ミートアップ, 2024 年 1 月

2024 年度 減災復興政策研究科 研究一覧

67. 青田良介, “防災と地域コミュニティ ～地域の活性化と人材の活用を考える～,” 武雄市×九州大学 令和5年度 武雄市未来共創ラボ 公開講座, 九州大学・武雄市, 2024年1月
68. 減災古文書研究会 (平井敬), “災害かわら版すごろくをやってみよう,” 名古屋市港防災センター定例ぼうさい教室, 名古屋市港防災センター, 2024年1月
69. 阪本真由美, “トルコの IT を活用した被災者支援,” 地域安全学会実務者企画委員会第12回オンライン勉強会, 地域安全学会実務者企画委員会, 2024年1月
70. 谷口博, “気象の数値シミュレーションによる災害予測可能性評価,” はりま産学交流会創造例会 第51回イブニングセミナー, 2024年1月
71. 青田良介, “災害とコミュニティ ～地域の活性化と人材の活用を考える～,” 姫路市南保健センター, 姫路市飾磨地区自治会長連合会, 2024年2月
72. 阪本真由美, “能登半島地震現場からの報告,” 緊急人道支援学会, 緊急人道支援学会, 2024年2月
73. 阪本真由美, “噴火警戒レベルに基づく災害対応を考える,” 高リスク小規模火山噴火総合研究会, 高リスク小規模火山噴火総合研究研, 2024年2月
74. 平井敬, “建築耐震工学に資する地盤震動研究と地震動予測,” 兵庫県建築構造技術研究会第102回例会, 兵庫県建築構造技術研究会, 2024年2月
75. 青田良介, “災害からの復興と Diversity & Inclusion～阪神・淡路大震災, 能登半島地震を例に,” 一社)神戸経済同友会 環境インフラ整備委員会 講演会, 一社)神戸経済同友会, 2024年3月
76. 青田良介, “能登半島地震,” 台湾政府消防署セミナー, 台湾政府内政部消防署, 2024年3月
77. 青田良介, “他にも広がる広域避難 能登半島地震～今後の大災害を見据えて,” 2024 災害支援フォーラム「今, 広域避難を考える 東日本大震災+能登半島地震」, (一社)ほっと岡山, 2024年3月
78. 青田良介, “人口減少・高齢社会時代の 減災復興を考える,” 令和6年能登半島地震 被災地支援活動・調査報告会, 兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科, 2024年3月
79. 安藤ゆかり, 紅谷昇平, “賃貸住宅の原状回復義務の免除は「家具転対策」に寄与するのか: 防災士への質問紙調査より,” 日本災害情報学会第28回学会大会, 2024年3月
80. 内見龍一, 永野康行, “ボーリング柱状図より決定した工学的基盤深度を用いた表層地盤の固有周期マップ作成,” 日本建築学会近畿支部研究会, 2023年6月
81. 青田良介, “人口減少・高齢社会時代の 減災復興を考える,” 令和6年能登半島地震 被災地支援活動・調査報告会, 兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科, 2024年3月
82. 加納靖之, 平井敬, 森脇美沙, “地震資料の利活用を考える in 東海 一みんなて翻刻と減災古文書研究会の取り組み一,” 歴史フェス, 歴史フェス実行委員会, 2024年3月
83. 北村昌卓, 浦川豪, 平井敬, “劣化した石碑の簡易な判読技術の開発と市民参加型石碑データベースの構築に向けた検討,” 減災情報システム第13回合同研究会, 地域安全学会・電気通信情報学会, 2024年3月

84. Mayumi Sakamoto, “Business Continuity of Organized Industrial Zone (OIZ) in Kahramanmaras Earthquake,” 6 February 2023 Kahramanmaras Earthquake and Business Continuity, Gaziantep Civil Engineer Association, 2024 年 3 月
85. 谷口博, “気候変動がもたらす気象災害と身近な環境への影響,” 気候変動×防災フォーラム, 2024 年 3 月
86. 馬場美智子, “長岡京市の災害リスクと企業の備え,” 令和 5 年度第 2 回経済懇談会, 2024 年 3 月
87. 平井敬, “自動車を活用した超高密度地震観測の実現に向けた検討,” 減災情報システム第 13 回合同研究会, 地域安全学会・電気通信情報学会, 2024 年 3 月

【その他の論文等】

1. 阪本真由美, “トルコ・カフラマンマラシュ地震より,” 日本災害情報学会 News Letter, Vol.93, pp.2, 2023 年 4 月
2. 阪本真由美, “災害対策における地域の役割—災害時の「自助」「共助」「公助」,” 地域づくり, Vol.406, pp.2-5, 2023 年 4 月
3. 澤田雅浩, “視点 防災 被災地における受援力:平成三〇年(二〇一八年)七月豪雨における広島県坂町の対応を振り返る”, 東京消防 / 東京消防編集室 編, Vol.102(7), pp.42-47, 2023 年 7 月
4. 北村美和子, 松川杏寧, SUPPASRI Anawat, “日本における災害時の LGBTQ+ のニーズ-課題と取り組みに関する報告,” 建築雑誌, Vol.138(1779), pp. 26-27, 2023 年 9 月
5. 紅谷昇平, “リスク特性からみた水害に対する建築・土地利用規制の合理性についての一考察,” 2023 年度日本建築学会大会 (近畿) 建築法制部門研究協議会資料, pp.51-52, 2023 年 9 月
6. 紅谷昇平, “直角台形型復興プロセスモデルに基づく事前復興の効果に関する考察,” 2023 年度日本建築学会大会 (近畿) 都市計画部門パネルディスカッション資料, pp.33-34, 2023 年 9 月
7. 阪本真由美, “個別避難計画と顔の見える関係づくり①—「個別避難計画」を通じた避難支援,” 月刊福祉 9 月号, 2023 年 9 月
8. 阪本真由美, “そなえを開く—トルコ・シリア地震被災地の現場から,” 建築雑誌, 13 卷 1779 号, pp.28-29, 2023 年 9 月
9. 阪本真由美, “災害時に備え国際連携,” 提言・減災, 2023 年 9 月
10. 阪本真由美, 前田昌弘, 山住勝利, 高原耕平, “暮らしの復興とは何か—復興の「内がわ」と「外がわ」の対話より,” 復興 Vol. 12(1), pp. 57-63, 2023 年 9 月
11. 阪本真由美, “個別避難計画と顔の見える関係づくり②—個別避難計画策定のポイント,” 月刊福祉 10 月号, 2023 年 10 月
12. 澤田雅浩, “2023 年トルコ・シリア地震 被災地における復興と課題”, 日本地震工学会誌, Vol.50, pp.32-35, 2023 年 10 月
13. 阪本真由美, 小山真紀, 牧紀男, “トルコにおける防災体制の中央集権化と大規模広域地震対応,” 第 16 回地震工学シンポジウム, pp.1-6, 2023 年 11 月
14. 澤田雅浩, “視点 防災 大規模マンションの耐震補強は実現するか,” 東京消防 / 東京消防編集室 編, Vol.102(11), pp.34-38, 2023 年 11 月
15. 中道治久, 阪本真由美, “桜島火山における 2020 年 6 月の火山岩塊落下を受けて実施した火山情報に関する住民意識調査”, 京都大学防災研究所年報, Vol.66(B), pp.111-120, 2023 年 12 月
16. Mayumi Sakamoto, Haruhisa Nakamichi, “Open Science Initiatives by Sakurajima Volcano Observatory,” Journal of Disaster Research, Vol. 19(1), pp.154-158, 2024 年 2 月

17. 青田良介, 認定 NPO 法人レスキューストックヤード, “第 3 章愛知方式を実現するために必要な要素、第 5 章まとめ (これからにむけての課題),” 愛知版災害ケースマネジメントの手引き, pp.58-62, pp77-79, 2024 年 3 月
18. 北村昌卓, 平井敬, “1944 年篠山城大書院の失火に関する伝承について,” 減災復興学研究, Vol.1, pp.37-41, 2024 年 3 月
19. Makiko Kuromiya, Shohei Beniya, “Efforts and Challenges for Continuity of Operations of Elderly Care Facilities responding to COVID-19 A case of Hyogo Prefecture in Japan”, 減災復興学研究第 1 巻(2024)、pp.34-36、2024 年 3 月
20. 小谷菜央, 平井敬, 永野康行, “建物の被害認定調査への活用を目指した残留変形の研究,” 減災復興学研究, Vol.1, pp.52-56, 2024 年 3 月
21. 澤田雅浩, “大規模マンションにおける耐震補強工事の実現プロセス 神戸市中央区港島地区での取り組みから,” 地区防災計画学会誌, Vol.29, pp.78-81, 2024 年 3 月
22. 澤田雅浩, “視点 防災 能登半島地震, 能登半島以外で起こっていること,” 東京消防 / 東京消防編集室 編, Vol.103(3), pp.42-45, 2024 年 3 月
23. 澤田雅浩, “大規模マンションにおける耐震補強工事の実現プロセス,” 減災復興学研究, Vol.1, pp.62-66, 2024 年 3 月
24. 前川浩基, 永野康行, 平井敬, 荘田悠平, 杉本和也, 吉田泰基, 中山善夫, 石原健司, 加藤直樹, “IoT センサ装置を用いた道路沿線斜面の監視手法の提案,” 減災復興学研究, Vol.1, pp.47-51, 2024 年 3 月
25. 松原郁洋, 平井敬, 永野康行, “地震時における建物内の揺れによる人の不安度評価手法,” 減災復興学研究, Vol.1, pp.42-46, 2024 年 3 月
26. 三田凜也, 松原郁洋, 荘所直哉, 永野康行, “表層地盤の地震応答解析結果を用いた震度指標の提案,” 減災復興学研究, Vol.1, pp.29-33, 2024 年 3 月
27. 宮内智香, 平井敬, 永野康行, “観測地震動と免震層最大変位に基づく免震層水平剛性の推定手法,” 減災復興学研究, Vol.1, pp.24-28, 2024 年 3 月
28. 吉井謙太郎, 青田良介, 永野康行, “減災復興学の視点で社会課題を考える探究活動の実践,” 減災復興学研究, Vol.1, pp.57-61, 2024 年 3 月

【受賞等】

1. 2022 年地域安全学会年間優秀論文賞, 紅谷昇平, “水害被災市町村の応急対応に対する当該都道府県による人的視点の役割,” 地域安全学会, 2023 年 5 月

【外部資金の獲得状況（科研費）】

1. イケダマリア, 青田良介（分担）：Poverty, resilience and vulnerability: Evidence from Leyte after Typhoon Haiyan, 基盤研究(C), 2018-04-01 – 2024-03-31
2. 増野 園恵, 尾島 俊之, 澤田雅浩, 勝沼 志保里, 松尾 香織, 林 知里, 藤井 愛海（分担）：大規模災害被災地域における持続可能な地域ケア体制の再構築戦略, 基盤研究(B), 2020-04-01 – 2024-03-31
3. 小山 真紀, 阪本真由美（分担）：自発的行動特性を持つ革新的避難モデルの開発, 挑戦的研究(萌芽), 2021-07-09 – 2024-03-31
4. 齊藤 知範, 田中 智仁, 松川杏寧, 山根 由子, 橋場 典子（分担）：ネット詐欺被害の危険因子の解明と注意喚起手法の開発, 基盤研究(C), 2022-04-01 – 2026-03-31
5. 飛田 潤, 護 雅史, 平井敬（分担）：免震建物の被災後・長期稼働後を想定した免震装置の特性変化モニタリング, 基盤研究(B), 2022-04-01 – 2025-03-31
6. 平井敬（代表）, 高橋 広人, 倉田 和己, 新井 伸夫, 飛田 潤：超高密度地震観測の実現へ向けた自動車搭載震度計の開発, 基盤研究(B), 2022-04-01 – 2027-03-31
7. 山川誠, 永野康行, 朝川剛（分担）：耐震レジリエンス／ロバスト性向上のための数値実験システムの開発, 基盤研究(C), 2022-04-01 – 2025-03-31
8. 楠 浩一, 青木 陽介, 西村 卓也, 小林 知勝, 近藤 久雄, Adriano Bruno, 王 功輝, Bhandary NetraPrakash, 加藤 愛太郎, 山本 揚二郎, 吉田 圭佑, 八木 勇治, 内田 直希, 汐見 勝彦, 山中 浩明, 高井 伸雄, 吉見 雅行, 地元 孝輔, 中村 洋光, 目黒 公郎, 久田 嘉章, 森 伸一郎, 清田 隆, 小野 祐輔, 後藤 浩之, 日比野 陽, 毎田 悠承, 大西 直毅, SHEGAY ALEKSEY, 阪本真由美, 金田 義行, 木村 周平, 牧 紀男（分担）：2023 年トルコ南部の地震と災害に関する総合調査, 特別研究促進費, 2023-03-17 – 2024-03-31

【外部資金の獲得状況（その他の競争的外部資金）】

1. 阪本真由美（代表）：地震・火山観測データを活用した減災・復興モデルの構築とリスクコミュニケーションに資する事例収集, 文部科学省（災害の軽減に貢献するための地震火山観測研究計画）, 2019 年 4 月（継続）
2. 浦川豪（代表）, 馬場美智子：洪水ハザードと水害リスクが被災者の減災住宅再建に与える影響と阻害要因 - 減災リスクコミュニケーションメカニズムの解明をめざして -, (公財)ひょうご震災記念 21 世紀研究機構 ((公財)ひょうご震災記念 21 世紀研究機構研究調査助成事業助成金) , 2022 年 4 月（継続）
3. 永野康行（代表）, 藤原淳, 水島靖典, 向井洋一, 兵庫県検討構造技術研究会（WGメンバー）：演繹と帰納の両面からのアプローチによる減災都市に向けた革新的建築設計法, ひょうご震災記念 21 世紀研究機構（研究調査助成事業）, 2022 年 7 月（継続）
4. 阪本真由美（分担）：災害に強い社会を発展させるためのトルコにおける研究と教育の複合体の確立 - マルテスト, 科学技術振興機構（国際的な科学技術共同研究などの推進 SATREPS）, 2023 年 2 月（継続）
5. 平井敬（代表）：スマートフォン等のモバイル機器による地震観測に関する研究のため, 株式会社ニュージェック（寄附金）, 2023 年 4 月
6. 平井敬（代表）：全国の想定地震波形の生成アルゴリズム技術指導及び生成サーバーAPI 構築補助, 有限会社アシストコム（共同研究）, 2023 年 4 月
7. 谷口博（代表）, 馬場美智子, 島伸一郎, 奥勇一郎：気象災害の誘因となる顕著現象と災害規模の予測可能性向上を目指したラジオゾンデ実地気象観測による予測インパクト研究, 兵庫県立大学（令和 5 年度特別研究プロジェクト推進事業）, 2023 年 7 月
8. 森 伸一郎, 阪本真由美（分担）：Kahramanmaras 地震の強震域の地震動記録と構造物被害に基づく新たな震度計算式の開発および微動測定と揺れの質問票調査に基づく被害集中域の震度の解明, 科学技術振興機構（国際的な科学技術共同研究などの推進 戦略的国際科学技術協力推進事業 J-RAPID）, 2023 年 8 月
9. 阪本真由美（代表）：カフラマンマラシュ地震における企業及び工業団地（OIZ）の事業継続と経済復興, 科学技術振興機構（カフラマンマラシュ（トルコ南東部）地震関連国際緊急共同研究・調査支援プログラム）, 2023 年 8 月

2024 年 12 月 25 日 発行

発行者 兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科